



Rainfall Observer

警報出力ユニット RF-00P1

仕様

対応機種	レインフォールオブザーバ RF-3
端子接点容量	AC100V：3A 以下 または DC30V：3A 以下
ヒューズ	3A φ 5.2 L = 20mm
電源	専用 AC アダプタ
外形	H73 × W65 × D32mm
重量	約 150 g
付属品	専用 AC アダプタ (AD-0601) 1 台 取扱説明書 本紙



この取扱説明書を読み、内容を理解してから本製品を使用してください。本書は大切に保管してください。

株式会社 ティアンドデイ

〒390-0852 長野県松本市島立 817-1
TEL:0263-40-0131 FAX:0263-40-3152
ホームページ <http://www.tandd.co.jp/>
2009.4.16004164120 第2版

警報出力ユニットとは

レインフォールオブザーバ RF-3(別売)からの警報信号を受信し、外部機器(回転灯・サイレンなど)を作動させるユニットです。本機から雨量監視の設定や警報解除をすることはできません。本機は付属の AC アダプタを接続して使用します。RF-3 本体の詳細については、RF-3 本体の取扱説明書をご覧ください。

警告

- 本機の動作結果を用いることによって生じるいかなる損害に対しても、株式会社ティアンドデイは一切の責任を負いません。
- 本機はレインフォールオブザーバ RF-3(以下 RF-3 本体)に接続して使用するものです。他の用途に使用しないでください。
- 付属の AC アダプタ (AD-0601) 以外は使用しないでください。火災などが発生する恐れがあります。
- 本機は、防水性がありませんので絶対に濡らさないでください。
- 本機は、お子様の手の届かない所に設置・保管してください。
- 本機の出力端子には必ず付属の透明カバーをしてください。感電の恐れがあります。
- 本機を当社指定の技術者以外の方が分解、修理、改造することは絶対に行わないでください。

取り扱い上の注意

- 本機を落としたり、強い衝撃を与えたりしないでください。
- 本機が汚れた場合は、アルコールをふくませた清潔な布で拭いてください。
- ケーブルを屋外へ配線する場合は、防水・屋外仕様の電線を使用してください。
- 本機の出力端子に配線するときは、M 3.5 用圧着端子・絶縁スリーブ付きを使用してください。
- 各ケーブルの上に重量物を載せたり、熱器具に触れたりしないようご注意ください。
- コネクタは、RF-3 本体にしっかり差し込んでください。
- ケーブルを RF-3 本体から抜くときは、必ずコネクタを持って抜いてください。

設置場所の注意

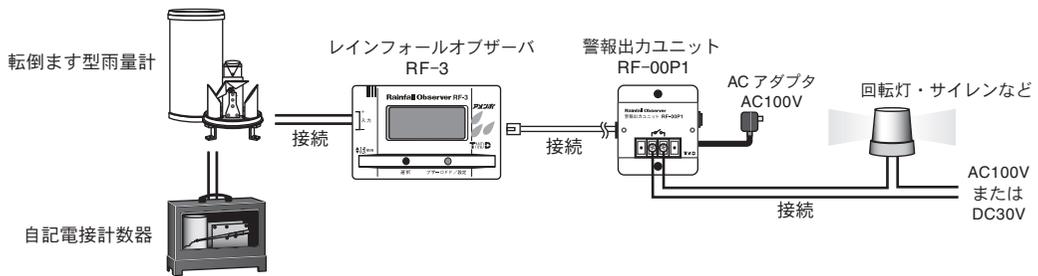
- 直射日光や高温多湿の場所で使用したり、保存しないでください。
- 酸、アルカリ、有機溶剤、腐食性ガス等の影響を受ける環境では使用しないでください。
- 湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災、感電の原因となることがあります。

電源コード・電源プラグの注意

- 電源コードを熱器具に近付けないでください。コードの被覆が溶けて火災、感電の原因となることがあります。
- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。
- 電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。コードが傷つき火災、感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。

警報のしくみ

RF-3 本体での雨量監視中に、各設定値を1つでも上回ると警報を発信し警報出力ユニットを通して外部機器（サイレン・回転灯など）を作動します。下図参照。



- 雨量監視については RF-3 本体の取扱説明書をご覧ください。
- 外部機器（サイレン・回転灯など）は、別途ご用意ください。
- RF-3 本体と自記電接計数器は、転倒ます型雨量計に両方とも並列に接続して同時に使用できます。

警報出力解除

警報は RF-3 本体の操作で解除します。

- 「1 時間」「1 日」「降始め」**全ての雨量監視値を測定値が下回ったとき**に RF-3 本体の赤いボタンを押すと解除されます。
- RF-3 本体の赤いボタンを 5 秒以上押し続け、積算値表示を 0 にリセットすると解除されます。

■次のような時には、警報出力ユニットは作動しませんのでご注意ください。

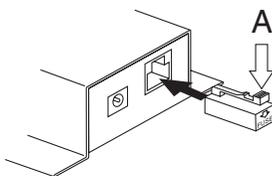
- 本機の AC アダプタを抜いたとき、または AC アダプタの電源が停電になったとき。
- 本機と RF-3 本体を接続するモジュラコネクタを外したとき。
- 外部機器のスイッチが切れているとき。
- RF-3 本体の電池電圧が低くなりスリープ状態になったとき。（右図参照）
- 本機のヒューズが切れたとき。



RF-3 本体のスリープ表示

ヒューズの交換方法

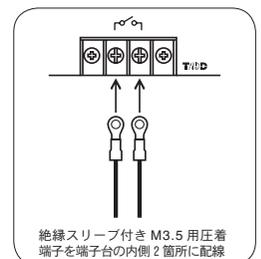
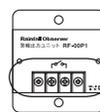
- ①ヒューズホルダの A 部を押しながらかき出します。
- ②ヒューズを交換します。
必ず 3A のヒューズを使用し、3A より大きな値のものを入れないでください。
- ③ヒューズホルダをカチッと音がするまで差し込みます。



- ヒューズの交換は電源を切って行ってください。感電の原因になります。

端子の接続

- ①端子台の透明カバーをはずします。
- ②端子台に圧着端子を使用して配線します。
圧着端子は絶縁スリーブ付き M3.5 用圧着端子を使用してください。
- ③圧着端子を確実に接続し端子台の透明カバーを取付けます。



絶縁スリーブ付き M3.5 用圧着端子を端子台の内側 2 箇所に配線

- 配線は電源を切って行ってください。感電の原因になります。
- 端子台の外側 2 箇所は使用できません。